# 令和７年度　事業報告書

社会福祉法人　川福会

# 目　次

Ⅰ．令和７年度事業報告

法　人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

Ⅱ．令和７年度事業報告（各拠点）

特別養護老人ホーム福寿苑・・・・・・・・・・・・・８

特別養護老人ホームみのわの里・・・・・・・・・・１４

特別養護老人ホーム布市福寿苑・真寿庵・・・・・２３

介護老人保健施設　枚岡の里・・・・・・・・・・・２９

介護老人保健施設　長田の里・・・・・・・・・・・３２

ケアハウスひらおか・・・・・・・・・・・・・・・３７

ケアハウス喜里川・・・・・・・・・・・・・・・・４０

小規模多機能ホームごりょうの家・・・・・・・・４４

介護老人保健施設　すいれん・・・・・・・・・・・４７

# 令和７年度　社会福祉法人川福会　法人事業報告

## １．　ガバナンス強化の継続

（１）理事長権限委任の検討

令和６年４月１６日付で専決規程を廃止、新たに理事長権限委任規程を策定し、管理職に理事長権限のさらなる委任を行いましたが、法人運営を円滑化することを目的に、あらためて理事長権限の委任について見直し、委任範囲の拡大を検討します。

対応事項

令和８年３月１６日付けで理事長権限委任一覧を改定しました。

理事長権限委任規程に則り、施設長や運営部長等に修繕や物品購入などに関する決済範囲を拡充する等、理事長権限の委任範囲を拡大図りました。

（２）法人のルール・基準の整備・職員への浸透

事業運営に関する種々の管理方法や事務手続き等について、令和７年度も実態把握を行い、必要に応じて統一していきます。

各事業の運営規程、重要事項説明書の整理し、法人における統一を進めます。

対応事項

下記の対応を行いました。

・次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく行動計画を策定
・育児・介護休業等に関する規程を改定
・就業規則第２０条（退職）に関するフローチャートを改定
・利用者自宅への送迎時体調不良者の対応統一
・運営規程、重要事項説明書の書式統一（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、短期入所生活介護、短期入所療養介護、ケアハウス）

（３）会計監査人監査・内部監査の実施、是正

会計監査人による会計監査の実施により指摘された事項について改善し、適切な会計処理を行います。

また、法人内部監査を継続し、介護保険制度における基準等遵守、労務管理の実態把握や人員配置、記録整備状況等の確認を行い、法人の適正な運営を推進します。

対応事項

≪会計監査人による会計監査≫

会計監査人による会計監査により以下の通りの指摘等を受け、下記の通り対応を実施しました。

・物品寄附の取扱い手順の徹底
・ＩＴ管理に関する実施内容の拡充
・ＵＴＭ（統合脅威管理）導入等、情報セキュリティ対策に向けた検討

≪内部監査≫

人員配置基準等の確認や記録整備状況等の確認の他、労務管理の確認及び時間外労働の実態確認を実施。必要に応じ改善指示等を行いました。

また、アルコールチェックの実施状況について、確認を行いました。

## ２．　経営基盤の安定

（１） 事業統廃合の検討

小規模多機能型居宅介護ごりょうの家、みのわの里訪問介護の事業継続の可否について検討します。

対応事項

≪小規模多機能型居宅介護ごりょうの家≫

小規模多機能型居宅介護ごりょうの家については、改善の努力を重ねてきましたが赤字解消の見込みがない事から、事業廃止に向けた協議を大東市と開始。

事業譲渡の努力をした上で、実現できなければ施設の取壊しも含めた事業廃止の方向で進めて差し支えがないという結論に達し、令和８年１０月１日からの事業休止が決定しております。

≪みのわの里訪問介護≫

パート職員の時給の検討や加算の算定、ＩＣＴ化による業務効率の推進等により、徐々に経営状況が改善してきております。

≪障害通所介護（みのわの里移設）≫

障害通所介護については、基準該当障害福祉サービス（障害者がサービスを受けた際に特例介護給付費等が支給されるサービス）であり、利用者が少数で且つ今後において新規を受け入れる予定もない事から、令和７年１０月３１日を持って事業廃止といたしました。

≪福寿苑認知症対応型通所介護≫

福寿苑認知症対応型通所介護については通所介護と認知症対応型通所介護のそれぞれに相談員等の人員配置が必要である等、事業形態や事業規模による人員配置の効率が悪く、損益上の改善が見込めない等の事から、認知症対応型通所介護を通所介護に転換することを検討。

東大阪市と協議の上、福寿苑認知症対応型通所介護の事業指定有効期間が令和８年３月３１日までとなっていることから当該日にあわせ事業廃止いたしました。

次年度には通所介護の利用者定員の増加申請を実施する予定としております。

（２）経費削減による支出改善

令和７年度も商品の統一、契約の見直し、業者変更等の経費削減施策を引き続き検討・実施することで、支出改善に取り組みます。

対応事項

電力会社について関西電力より新電力会社への変更を検討し、コスト削減が図れる

との判断にて、新電力会社との契約を締結しました。

また、入所者の健康維持に関する栄養補助食品に関して提供商品を統一。支出を抑える一方、各拠点に再度入所者への再アセスメントを指示し、食事形態の見直し等により提供人数を減少させることに繋がっております。

（3）生産性向上に対する取り組みの継続

生産性向上を図るための課題認識を職員と共有し、業務効率化のための環境整備・業務改善に継続して取り組みます。

対応事項

全ての拠点で生産性向上委員会を設置しました。

定期的に委員会を開催し、拠点・事業所ごとに課題の見える化を開始しております。

・みのわの里居宅介護支援事業所にて、スマートホンの録音・文字化機能を活用し、訪問記録作成の時間短縮への取り組み。

・法人統括本部にて、ＡＩボイスレコーダーを活用した議事録作成。

・特別養護老人ホーム福寿苑にて、インカムを使用したリアルタイムでの情報共有。

・在宅部門へのケアプラン連携システム導入の開始。（伴うコンピューターの入替）

・令和８年度から法人全体の介護ＤＸ検討会議を開始予定

## ３．　法人組織風土の改善

（1）虐待・不適切介護根絶の対応継続・改善

令和６年度に実施した利用者満足度アンケート・不適切介護アンケートの結果に基づき、各施設の組織風土の改善を推進します。

対応事項

正職員については、人事考課に関連する目標面談の形式から、総合的な相談形式に内容を変更する事で、業務上の悩みや問題、対人関係やキャリア形成に関する相談の他、事業所内でのハラスメントや虐待等に関する意見を聞く等にて各個人の思いや考え方の把握に努めました。

また、嘱託職員・パートタイム職員については、契約更新における新たな判断項目として、「継続雇用評価表」に虐待やハラスメント、権利擁護等に関する項目を追加し、問題の兆候を早期の段階で掴めるよう組織風土の改善に取り組みました。

（2）ハラスメント防止対策の進捗管理・実態把握・改善

令和６年度に実施した職員へのハラスメントアンケートの結果に基づき、各施設の組織風土の改善を推進します。

対応事項

上記（１）の通り。

（３）第３者評価の再受審

令和６年度に特別養護老人ホームみのわの里で受審、また当該受診結果に基づき、介護老人保健施設枚岡の里・長田の里・すいれんで自己評価を実施しました。

令和７年度では、特別養護老人ホーム福寿苑・布市福寿苑で第３者評価を受審し、令和６年度の実施施設と併せて法人然としての改善計画を策定し、より適切な施設運営管理、利用者処遇の向上につなげていきます。

対応事項

特別養護老人ホーム３施設の受審については実施事業所（ぱ・まる）との間でスケジュール調整を実施し全施設の実施が完了しております。

適切な施設運営及び利用者への処遇向上を目指し、改善の為の水平展開として第３者評価の結果報告書について全体比較を実施し、課題となる項目を抽出しました。

抽出された課題に関し、施設間での意見交換の実施や高評価されたポイント、職員への情報の伝達方法や使用ツール等の比較等、多面的に不足箇所や改善点考察し、改善策を作成。改善策については次年度より適宜実施してまいります。

## ４．　職員採用・育成・定着の取り組み

（１）次世代の経営層・管理職の育成

次世代の経営層・管理職候補に、施設運営管理、財務管理能力を向上させるため、研修参加や出向制度の活用により経験を積ませることで人材育成を行っていきます。

また、現任管理職の育成を目的として、今まで経験したことのない事業所への異動を行い、新たな経験を積ませることで人材育成を行っていきます。

対応事項

施設長・運営部長の異動のみならず、生活相談員や介護士等、現場を支える有能な職員について、適宜、拠点間異動、拠点内事業所の異動を実施し、経験を積ませております。

当年度においては２６名の昇進・昇格を行いました。

（２）人事考課のありかた検討

不適切介護の根絶、労務管理の徹底等、職員が改善すべき点を人事考課項目としたうえで人事考課を継続してきましたが、介護人材を確保・定着させるために、「仕事やメンタル面のサポート面談」「キャリアアップ･働き方等に関する定期的な相談･面談」についても更なる充実を図るため、今後の人事考課のありかたについて検討します。

対応事項

左記「組織風土の改善」でも記述しておりますが、業務上の悩みや迷い、対人関係の困難さ等に関して、上席職員や同僚に気軽に相談できる環境を構築する事を目的とした定期の面談を開始し、身体や精神の不調を来す前に原因を取り除く事で、安定した労働環境の提供に努めました。

（３）職員採用における新たなシステム構築の運用と情報発信の実施

令和６年度に法人独自の日雇雇用システムとして構築した登録型介護士の運用をさらに推進するとともに、特定技能等の外国人採用も引き続き取組むことで、人材確保に注力していきます。

また、ＳＮＳの充実、広報活動や近隣の高校や大学との交流など地域に向けた訴求活動に取組みます。

対応事項

法人の独自システムとして登録型介護士の運用を開始して以降、施設・通所サービスについて徐々に増加してきており、これまでは元職員や日雇いアルバイト（スポットワーク）からのリピート者の登録が主でありましたが、直接ホームページを介しての登録者も増加しております。

現状の実績は４拠点ではありますが、全拠点への展開を目指してまいります。

また、学校行事への参加や参画、枚岡樟風高校では福祉業界及び福祉の仕事についての授業を行う等の訴求活動を実施した他、４月には４名の外国人留学生の受け入れをいたしました。

## ５．　安心、安全への取り組み

（１）　事業継続マネジメントの確立

災害・感染ＢＣＰについて各事業所において義務化された委員会の開催、研修、訓練を計画的に実施し適宜見直しを行うとともに災害時の訓練の実施に当たっては地域住民の参加が得られるよう努め、自然災害と感染症に対するリスクを最小化することを想定した事業継続マネジメントの確立に取り組みます。

対応事項

各事業所にて作成されたＢＣＰ計画を基に、年２回の研修と訓練を実施しました。

ＢＣＰ計画書の修正等については、職員の異動や担当職員の変更等が発生した際に適宜実施、研修参加、備品の追加や準備数の見直し等を実施しております。

地域住民参加の訓練については各拠点共に未実施となっております。

（２）地域公益活動の推進

これまで実施してきた地域公益活動について、必要に応じて見直しや改善を実施しながら地域の公益的な取り組みを継続していきます。

対応事項

地域公益活動については昨年度に評価を行い、その結果から活動内容について実施回数の見直しや提供内容の変更等を計画し実践致しました。

また、東大阪市フードバンク連絡会に参画し、フードロスの取り組みを主として、東大阪市の子供食堂への食材の寄贈や配送、仕分け等を実施しました。

地域包括支援への機能強化としては、ボランティアの受入れ体制を再整備し、今年度より本格的に受入れを開始し、新たなボランティアの受入れを実施しております。

【地域における公益的な取組及び地域公益事業に類する取組】

| 実施施設 | 取組 | 取組内容 | 開催回数 |
|---|---|---|---|
| 各施設 | 就労訓練事業<br>（都道府県認定事業） | 自立相談支援機関からの紹介による就労に困難を抱える方の受入れを実施 | 随時 |
| 各施設 | 大阪府広域就労支援事業 | 就労訓練事業と内容は同様（大阪地域職業訓練センターや福祉事務所より紹介） | 随時 |
| 各施設 | 東大阪市フードバンク連絡会 | 東大阪市の子供食堂への食材の寄贈や配送、仕分け等の支援 | 随時 |
| 特養 | 大阪府社会貢献事業 | 生活困窮レスキュー事業として総合生活相談と緊急支援の実施 | 随時 |
| 福寿苑 | ぽかぽかサロン | 地域の方への社会交流の場の提供（演芸のボランティアさん等による昭和歌謡や唱歌等） | 10回 |
| 福寿苑 | お買い物ツアー | 買物困難な高齢世帯に送迎・付き添いを実施 | 8回 |
| 福寿苑 | 認知症サポーター養成講座 | 枚岡中学での活動の進行支援 | 3回 |
| 福寿苑 | 高齢者疑似体験 | 縄手北小学校と縄手東小学校での体験活動の実施 | 2回 |
| 福寿苑 | 桜町お元気サロン | 桜町在住の高齢者のためのサロンの支援 | 10回 |
| 福寿苑 | 旭町竹とんぼサロン | 縄手北校区高齢者のためのサロンの支援 | 10回 |
| 福寿苑 | まほうの肩たたき | 高齢者のラジオ体操・棒体操・脳トレ | 12回 |
| 福寿苑 | 枚岡樟風高校出前授業 | 学生に対する福祉の授業を実施 | 1回 |
| 福寿苑 | 教育機関連携（枚岡樟風高校文化祭） | 枚岡樟風高校の文化祭に参加 | 1回 |
| 福寿苑 | ふくじゅえんの日 | 小規模のまつりを開催し、事業所の説明や見学などを実施 | 4回 |
| 福寿苑 | つどいサービス訪問 | 寺尾整骨院（つどいサービス）の訪問 | 2回 |
| 福寿苑 | 縄手北校区民生委員会 | 縄手北校区民生委員会の参加 | 10回 |
| 福寿苑 | おれんじサロン「いこか」 | 認知症高齢者と圏域の高齢者のサロン | 12回 |
| 福寿苑 | 高齢福祉サービス事業者向け研修 | 地域介護支援専門員への事例検討会や研修の実施 | 4回 |
| みのわの里 | 医療機関連携（若草会） | 祭りへの協力 | 1回 |
| みのわの里 | 家族介護教室 | ご家族への情報提供やサポート | 6回 |
| みのわの里 | 認知症サポーター養成講座 | 認知症サポーター養成講座の開始 | 2回 |
| みのわの里 | 多世代交流会 | 加納校区子供会、福祉委員会主催の多世代間交流イベント | 1回 |
| みのわの里 | 祭事への協力 | 地域祭り（古箕輪自治会）への参加 | 1回 |
| みのわの里 | 地域清掃活動 | 地域の環境美化清掃を実施 | 7回 |
| みのわの里 | 車椅子の無料貸し出し | 外出などに必要な車椅子を無料貸し出し | 随時 |
| みのわの里 | ふれあいサロン | 地域交流の場の提供やレクリエーション活動 | 2回 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 布市福寿苑 | 教育機関連携（石切東小学校） | 小学校に花の植え替え体験 | 4 回 |
| 布市福寿苑 | 会場提供 | おりがみ教室への開催場所の提供 | 12 回 |
| 布市福寿苑 | 地域清掃 | 施設周り、域包括支援センター事業所周りの地域清掃 | 2 回 |
| 布市福寿苑 | きっずサポーター養成講座 | 石切東小学校から小学生に認知症についての学びの場の提供依頼対応 | 1 回 |
| 布市福寿苑 | 認知症カフェ支援 | 近隣施設で開催している認知症カフェへの支援 | 12 回 |
| 枚岡の里 | 健康教室 | 公民館でフレイルと認知症予防に関する講演、体操などを行う | 1 回 |
| 枚岡の里 | 健康教室 | 地域住民のためのロコモティブシンドローム予防に関する講演、運動などを施設内で開催 | 1 回 |
| 枚岡の里 | 高齢者疑似体験 | 縄手北小学校での活動の支援 | 2 回 |
| 長田の里 | 介護よろず相談窓口 | 地域の方に向けて「介護よろず相談窓口」を設置 | 随時 |
| 長田の里 | 介護予防教室 | ペットボトル体操を実施 | 1 回 |
| 長田の里 | リハビリ体操の紹介 | ブログ・長田の里たより等に手（肩など）関節体操を掲載 | 3 回 |
| 長田の里 | 祭事への協力 | お祭りのだんじりの休憩場所として開放 | 1 回 |
| 長田の里 | 教育機関連携（東大阪敬愛短期大学） | 東大阪敬愛短期大学の文化祭に参加 | 1 回 |
| すいれん | 鶴見区民まつり出店参加 | 区民に向け「介護相談・健康相談」等のブース出店 | 1 回 |
| すいれん | 介護予防教室 | 地域の方に向けて介護予防教室を実施 | 1 回 |
| すいれん | 介護相談窓口 | 地域の方に向けて「介護よろず相談窓口」を設置 | 随時 |
| 喜里川 | 青山会　パン販売 | 障害者施設連携による施設内でのパンの販売 | 30 回 |
| 喜里川 | 縄手北校区　自主防災訓練ふれあい地域清掃 | 地域清掃・防災訓練 | 1 回 |
| ひらおか | 小地域ネットワーク | 介護予防教室の開催 | 1 回 |
| ごりょう | 地域清掃 | 御領地区を中心にゴミ拾い（月一回程度） | 10 回 |
| ごりょう | 御領サロン | 御領地区のサロンの運営を自治会や事業所と主に運営 | 5 回 |

# 特別養護老人ホーム　福寿苑　令和７年度　事業報告

【１】令和７年度　総括

・令和７年７月に新たな法人理念が制定された事から職員の理解を深めるため改めて周知を行い、理念に基づいた行動および計画の推進に努めた。その結果理念への理解を深めるとともに、理念を体現し行動する運営をおこなった。

・研修システムを活用し、個別研修計画を継続的に実施した。職種ごとの専門性や個々のスキルに応じた内容とすることで、職員の能力向上および実践力の強化につなげることができた。

・共生社会の実現を目的とした認知症基本法の理念を軸に、ご利用者等の意向を尊重した支援を実施した。多様なニーズに対応しながら、質の高いサービス提供を継続し、理念に基づいた行動の実践に努めることができた。

・人材確保と定着の強化として、単発アルバイトの利用者にアプローチを行い、直接雇用への転換を進めることができた。
また、登録介護士１０名のうち３名が特別養護老人ホームおよび通所介護事業所において継続勤務となり、人材の定着やサービスの質の安定化につなげることができた。

・地域連携の強化と交流機会の創出を目的として、２か月に１回「ふくじゅ苑の日」を開催した。ご利用者・ご家族に加え広く地域住民の参加を促すとともに、学生の活躍の場の創出にもつながった。さらに、事業所見学の機会を設けることで、福寿苑の取り組みやサービス内容を地域へ広く発信することができた。
また、「ぽかぽかサロン」については、開催場所を介護老人保健施設枚岡の里へ変更することで、より多くの地域住民が集える環境を整備し、地域交流の促進につなげた。

【２】事業実績

| | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点全体 | ― | 97.7% | 73.7% | 26.5% | 7.1% | △7.3% |
| 特養 | 93.8% | 103.8% | 66.7% | 31.1% | 7.9% | △5.7% |
| 短期入所 | 93.8% | 103.1% | 61.3% | 23.1% | 0.4% | 15.2% |
| 通所介護(一般) | 61.0% | 85.6% | 107.1% | 26.9% | 14.9% | △48.9% |
| 通所介護(認知) | 36.3% | 64.2% | 91.5% | 28.1% | 9.9% | △29.5% |

| | | 担当件数 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居宅介護 | 延べ | 2161 件 | 98.6% | 80.8% | 4.3% | 1.2% | 13.7% |
| | 1 人 1 月 | 35.2 件 | | | | | |
| 介護予防 | 延べ | 2800 件 | 89.3% | 44.8% | 38.7% | 0.0% | 16.5% |
| | 1 人 1 月 | 46.6 件 | | | | | |

【３】事業計画の実施報告

（１）特別養護老人ホーム（短期入所事業を含む）

・毎月第４水曜日にケース会議を開催し、多職種で利用者のケアプランの見直しおよび振り返りを実施した。その結果、前年度と比較して、各職種間の連動性が高い内容へと改善することができた。

・改善が必要な議題については随時、多職種で検討する体制を整え、決定事項については職員へ適切に周知・共有を行うことで、組織全体で統一した対応が図れるよう努めた。

・問題が複雑で通常の検討で改善が見込めない場合、専門職会議による業務改善を実施することとし、決定内容の周知については第４木曜日に多職種が参加する場を設け、職員の意思統一とサービスの質向上に取り組んだ。

・加算取得に向け計画的に取り組み、認知症チームケア推進加算（Ⅱ）、生産性向上推進体制加算（Ⅱ）、協力医療機関連携加算の取得が実現できた。

（２）デイサービスセンター

・担当制による個別ニーズ把握の取組を実施し、職員１人当たり６～８名のご利用者を担当。カンファレンスでの評価を継続的に実施したことで、個別ニーズの把握が向上し、より適切な支援の提供につなげることができた。

・各居宅介護支援事業所を訪問し、実績報告と併せて体験利用申込書やイベントチラシを手渡す営業活動を実施した。その結果、関係機関との連携強化が図られ、新規利用の促進につながった。

・個別支援および自立支援の重要性が職員に浸透したことで、過介護の場面が減少。これによりご利用者の自立を促進するケアの実践につなげることができた。

（３）居宅介護支援事業所

・週１回の定例会議を実施し、困難事例の情報共有を行うとともに、社会資源の発掘や保健福祉に関する情報共有を行った。これにより、支援の質の向上と対応力の強化につなげた。

・外部研修への参加による専門性の向上に努めると共に、地域包括千寿園主催の「ひらひら研究会」への参画、共同研修の実施などにより実践力の強化に取り組んだ。

・地域包括支援センターや医師会主催の研修・事例検討会に参加し、多職種連携の強化を図った。ヤングケアラー支援など新たな課題にも対応し、地域全体での支援体制の構築に寄与した。

（４）地域包括視線センター

・介護予防、家族支援事業の実施圏域の高齢者および介護を担う家族を対象に、介護予防教室および家族介護教室を年間計画に基づき実施した。
・高齢者生活支援等会議メンバーと連携し、新たな地域課題への取り組みを推進すると共に「高齢者生活支援等会議」や「単位地域ケア会議」を開催し、個別課題および地域課題について検討を行った。
・東大阪市事業である「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（フレイル予防講座・栄養編）」について計画どおり実施し、高齢者の健康維持・介護予防の推進につなげた。
・認知症支援および普及啓発の推進として、認知症サポーター養成講座を一般向けおよび金融機関向けに開催し、認知症に対する理解促進を図った。
また、圏域の小学校において「キッズサポーター養成講座」および「高齢者疑似体験」を実施し、次世代への普及啓発に取り組んだ。

【４】施設の課題

・地域との連携強化の必要性は、以前にも増して高まっており、これまで認知症対応型通所介護における法定会議の開催を通じて、地域関係者やご家族との交流の機会の中で地域課題の抽出や取組の推進を進めてきたが、当該事業について、年度内に廃止としたことにより、今後の地域連携の方法や課題抽出等について新たに模索し再構築を図ってゆく必要が生じている。。
・収益の向上を図り、事業運営の安定化を実現していく事は最重要課題であり、人員配置の見直しを進めるとともに、単発アルバイト等の有効活用等による柔軟な人員確保にも取り組んでゆく。
一方で、加算の取得など収益向上への取組等、持続可能な運営体制の構築に向けて取り組んでゆきたい。
・施設建物および設置機器の経年劣化に伴い、故障や修繕を要する箇所が増加しており、計画性を持って導入・更新等を行うことが課題となっている。

【５】付表

年間行事実績

特別養護老人ホーム

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| 4 | 苑庭お花見　家族様を迎え園庭お茶会 |
| 5 | 家族様を迎えお好み焼き調理とランチ |
| 6 | 家族様を迎え外出レク |

| | |
|---|---|
| 7 | 家族様を迎えガーデンランチ |
| 8 | かき氷 |
| 9 | 焼肉行事 |
| １０ | ごちそうの日 |
| １２ | クリスマス会　門松づくり |
| 1 | 獅子舞とみかんくじでお正月 |
| 2 | 鍋の会 |
| 3 | 日新高校さくらまつり |

デイサービスセンター

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| 4 | お花見 |
| 5 | おやつ作り |
| 6 | 未来カフェ |
| 7 | 納涼会 |
| 8 | 夏祭り |
| 9 | 敬老祝賀会 |
| １０ | 室内運動会 |
| １１ | 焼き芋行事（未来カフェ） |
| １２ | クリスマス会 |
| 1 | 新年会 |
| 2 | 節分祭 |
| 3 | ひな祭り |

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 8 | ＢＣＰ訓練（天災） | 阪神大震災・東日本大震災で実際に起きた問題を踏まえ図上訓練、避難所運営ゲーム HUG を活用し訓練を実施 |
| 9 | ＢＣＰ訓練（感染） | 感染症発生拡大から蔓延抑圧までを想定したシミュレーション訓練 |
| １１ | ＢＣＰ訓練（天災） | 地震災害の発生に伴う、訓練を実施<br>事前準備から発生対応までの内容で備蓄食の運搬等の訓練実施 |
| 1 | 基礎訓練 | 新規職員を対象とした消火器の取り扱い、消火活動訓練、水消火器を使用した模擬消火訓練 |
| 2 | 夜間想定（避難訓練） | 夜間想定避難訓練を系列施設３施設で訓練を実施 |

| | | |
|---|---|---|
| 3 | ＢＣＰ訓練（感染） | 感染症発生拡大から蔓延抑圧までを想定したシミュレーション訓練 |

研修実績

特別養護老人ホーム、短期入所、通所介護、居宅介護支援、地域包括支援センター

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 財務会計・事業経営～会計の必要性～<br>調理師・栄養士との連携<br>高齢者に多い疾患の基礎知識①<br>生活リハビリ研修<br>生活相談員向け研修～生活相談員とは～<br>現場で使えるケアプラン①～ケアプランとは～<br>労務管理研修①～労務管理とは～<br>リーダーシップ研修～リーダーとしての心構え～<br>摂食・嚥下研修①～摂食・嚥下とは～<br>排泄・入浴・食事介助の基本<br>緊急時の対応に関する研修<br>介護現場で気をつけたいプライバシー保護に関する研修 |
| 5 | 財務会計・事業経営～介護会計等～<br>衛生・準備<br>高齢者に多い疾患の基礎知識②<br>機能訓練研修生<br>活相談員向け研修～対人援助技術～<br>現場で使えるケアプラン②～課題分析～<br>労務管理研修②～就業規則・ハラスメント等～<br>リーダーシップ研修～介護現場のリーダーシップ～<br>摂食・嚥下研修②～訓練方法～<br>排泄・入浴・食事介助の実践<br>業務継続計画（ＢＣＰ）に関する研修～感染症～<br>事故発生又は再発防止に関する研修 |
| 6 | 介護食形態加工<br>喀痰吸引研修～喀痰吸引とは①～<br>知って得する姿勢ケア①～正しい姿勢～<br>生活相談員向け研修～生活相談員に求められる力～<br>現場で使えるケアプラン③～ケアプランの解説～<br>労務管理研修③～賃金・人材・健康～<br>クレーム対応研修～クレーム対応の概要～<br>口腔ケア研修 |

| | |
|---|---|
| 6 | 知って得する姿勢ケア①～正しい姿勢～<br>倫理及び法令遵守に関する研修<br>身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修 |
| 7 | 喀痰吸引研修～喀痰吸引とは②～<br>知って得する姿勢ケア②～利用者の力を活かす～<br>現場で使えるケアプラン④～ケアプランの解説～<br>経営者向けトップマネジメント研修①～人～<br>クレーム対応研修～クレーム対応とカスタマーハラスメント～<br>服薬介助研修知って得する姿勢ケア②～利用者の力を活かす～<br>接遇に関する研修 |
| 8 | 喀痰吸引研修～経管栄養とは①～摂食・嚥下研修①～摂食・嚥下とは～<br>現場で使えるケアプラン⑤～ケアプランの解説～<br>経営者向けトップマネジメント研修②～モノ・情報～福祉用具の基本の「き」①～車椅子等～<br>間接業務研修①～掃除～<br>感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修新規入職者の方向けの研修（８月～１０月） |
| 9 | 喀痰吸引研修～経管栄養とは②～摂食・嚥下研修②～訓練方法～<br>現場で使えるケアプラン⑥～ケアプランの解説～<br>経営者向けトップマネジメント研修③～お金・コンプラ～<br>福祉用具の基本の「き」②～特殊寝台等～<br>間接業務研修②～洗濯・リネン交換・配茶～<br>ハラスメントに関する研修 |
| １０ | バイタルサイン・フィジカルアセスメント現場で使えるケアプラン⑦～課題整理総括表～<br>経営者向けトップマネジメント研修④～リスクマネジメント<br>経営～ヒヤリハット研修①～ヒヤリハットとは～<br>業務継続計画（ＢＣＰ）に関する研修～自然災害～ |
| １１ | 拘縮ケア研修管理職の不安を業界リーダーが徹底解決！①～リーダーシップとは～ヒヤリハット研修②～<br>シーン別注意点～介護予防及び要介護度進行予防に関する研修 |
| １２ | 緊急時の対応研修管理職の不安を業界リーダーが徹底解決！②～採用・チーム強化～<br>事故発生又は再発防止に関する研修 |
| 1 | 身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修 |
| 2 | 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修 |
| 3 | 認知症及び認知症ケアに関する研修<br>入浴介助に関する研修 |

# 特別養護老人ホーム　みのわの里　令和７年度　事業報告

## 【１】令和７年度　総括

・令和７年７月に新たな法人理念が制定されました。職員一人一人が日頃から大切にすべき根本的心構えと捉え、毎週初めの朝礼で理念の確認をおこないました。
基本姿勢である傾聴・受容・共感を心掛け、主訴・実態・実情を適切に把握し、１人で抱え込まず上司、同僚に相談し行動できるよう継続して理念の周知を実施いたします自然災害等が増えていることから、非常災害発生時に備え全職員が適切に行動できるよう初動訓練の実施を行うと共に福祉避難所（協定）施設として、行政主催の研修会に参加。日頃からの備えとして、水・食料以外に、今年度は「地域介護・福祉空間設備等施設整備交付金」を活用し非常用発電機を設置し、有事の際、地域の拠点として運用してゆけるよう強化を図りました。

・施設における人材確保の取組として、ハローワークとホームページでの応募を軸に、単発アルバイトの利用者へのアプローチなどにより、職員からの紹介３名、ハローワーク主催の面接会で１名採用に繋げることができています。

・生産性向上について府社協主催の介護の生産性向上施設見学会参加し、自施設で活かる取り組みについて情報収集を行い、機器の導入の提案等につながりました。

## 【２】事業実績

| | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点全体 | ― | | 65.9% | 22.4% | 3.3% | 8.4% |
| 特養 | 94.9% | 99.8% | 58.6% | 28.5% | 3.6% | 9.3% |
| 短期入所 | 91.3% | 101.4% | 48.8% | 21.0% | 4.3% | 25.9% |
| 通所介護(一般) | 72.0% | 95.6% | 70.3% | 14.9% | 4.7% | 10.1% |
| 通所介護(認知) | 57.5% | 88.4% | 67.2% | 17.4% | 2.9% | 12.5% |

| | | 担当件数 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 訪問入浴 | 延べ | 689 件 | 83.5% | 149.8% | 6.3% | 0.9% | △57.0% |
| | 1 日 | 2.7 件 | | | | | |
| 訪問介護 | 延べ | 10189 件 | 97.7% | 121.8% | 4.2% | 0.5% | △26.5% |
| 介護保険 | 1 人 1 月 | 3.3 件 | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 訪問介護 | 延べ | 3240 件 | 85.7% | 71.5% | 4.2% | 0.1% | 24.2% |
| 障害福祉 | 1人1月 | 2.0 件 | | | | | |

※訪問入浴の訪問件数は年間延べ利用者数と１日あたりの訪問件数

※訪問介護（介護保険）の訪問件数は年間延べ利用者数と職員常勤１の１日当たりの訪問件数

※訪問介護（障害福祉）の訪問件数は年間延べ利用者数と職員常勤１の１日当たりの訪問時間

| | | 担当件数 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居宅介護 | 延べ | 3092 件 | 98.2% | 74.1% | 3.1% | 0.7% | 22.1% |
| | 1人1月 | 42.2 件 | | | | | |
| 介護予防 | 延べ | 2355 件 | 96.2% | 56.3% | 36.0% | 0.1% | 7.6% |
| | 1人1月 | 39.2 件 | | | | | |

| | | 開催件数 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域包括 | 教室等 | 68 件 | 113.3% | 88.5% | 6.1% | 4.1% | 1.3% |

【３】事業計画の実施報告特別養護老人ホーム（短期入所事業を含む）

（１）特別養護老人ホーム

・住み慣れた場所で最期まで生活が送れるよう、ご利用者の人権について考えて行動（個別の食事提供等）し終末期ケアをおこない、今年度は入所者１７名の看取り介護を実施いたしました。

・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を開催し、オンライン研修を受講することで、より人権に関する理解を深めるとともに職員周知に努めました。

・協力医療機関連携会議を月１回開催。入院者状況を把握することで、平均入院者率３.９％と前年度と対比し１.２％減少。協力医療機関と連携により、入退院の調整がスムーズになり、稼働率向上につながりました。

・年間行事と共に季節にあった楽しい、美味しいと感じてもらえる食事の提供に努め、ご家族等のご意見にて献立表を継続的してブログに掲載しました。
また、栄養マネジメント強化加算を取得しミールラウンドを通じて嗜好の確認や状態に応じた食事の提案を行いました。

（２）短期入所生活介護

・ご利用者へ施設の機能訓練指導員による訓練を実施し、自宅（住み慣れた場所）での生活が継続して頂けるよう、支援しました。

（３）デイサービスセンター

・ＩＣＴ活用や事務環境の整理整頓により、業務効率を向上させることができた。
・事例検討や専門性の向上を目的として、各種研修を実施。職員面談による意欲向上を図りました。
・定期的な運営推進会議の開催や地域行事への参加。ボランティアや実習生の積極的な受け入れ等、地域に開かれた透明性の高い運営を推進しました。
・ご家族からの相談に対し、在宅での介護方法や福祉用具の使い方について提案。負担軽減や安全な介護に繋がるよう紐解きシートを活用し、個別支援について提案しました。

（４）訪問入浴サービス

・迅速な対応と多職種連携により、ご利用者の希望であった入浴をターミナル期においても提供することができました。
・ご利用者の体調に合わせ、曜日の変更やスポット利用など柔軟に対応する事で心身ともに安らげる支援を実施しました。
・収益面では新たに看取り連携体制加算を取得しました。

（５）訪問介護（障害福祉サービス含）

・専門職種から虐待や交通ルール（自転車違反の新制度）、高齢者の火災予防など研修を受講し部署内に伝達研修を実施しました。
・延べ２１６件の自費サービスを利用いただき、介護保険制度では、手の届かない方へのサービスを提供することができました。

（６）居宅介護支援事業所

・専門性向上のため人権研修やヤングケアラー研修・障がい福祉に関する研修などを受講し、事業所内において伝達研修を実施しました。
・地域の新規介護事業所や既存の訪問看護事業所や介護事業所と勉強会や情報共有をおこない、連携に努めました。
・業務の効率化を図るため、新たに音声入力ツール活用を開始しました。

（７）地域包括支援センター

・フレイル予防講座の開催により、関わりが皆無であった自治会や老人会との接点が広がり、地域課題の把握につながりました。
・世代間交流会を企画、運営を実施し地域の高齢者がこどもや保護者などの若い世帯と関わる機会の創設にて、地域社会での役割と社会参加の機会を作ることができました。
・職能団体の開催する研修等への参加にて職員のスキル向上を図ると共に、事業所や施設内への伝達研修を行いました。

【４】施設の課題

・今年度は退職者数が入職者数を上回る状況となり、特に介護職員の正職員が減少傾向にあることから、人材の確保と定着が課題となっている。
・世界情勢による、石油製品（プラスチック手袋や袋等）の不足と高騰。加えて、物価高により運営コストの増加が続いており、無理のない範囲での使用量削減や代替品の検討。
・在宅サービス関連（通所介護（認デイ含）、訪問介護（障害福祉含）、訪問入浴）の稼働率向上を目指します。
・地域サロン開催時において、災害時の勉強会の開催実施できたが、災害時事業継続計画における地域と協働した訓練の実現。

【５】付表

年間行事実績

特別養護老人ホーム

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 花見散歩（古箕輪公園） |
| ５ | 山菜御膳の日 |
| ６ | すいか祭り |
| ７ | 土用の丑（うな丼） |
| ８ | 季節の御膳 |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １０ | 秋祭りだんじり見学　ハローウィン行事 |
| １２ | クリスマス会 |
| １ | 元旦祭 |
| ２ | 節分祭 にぎり寿司 |
| 毎月開催 | 誕生日食 |

デイサービスセンター

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 桜の花見　春の味覚御膳 |
| ５ | 母の日イベント |
| ６ | あじさい御膳　父の日イベント　室内運動会 |
| ７ | ハレの日御膳　七夕飾り　短冊と天の川作り　かご作り |
| ８ | 夏の舌涼みソフトクリーム　夏祭り |
| ９ | 敬老祝賀会　お月見弁当　お月見イベント |
| １０ | 秋御膳　秋を感じる壁掛け作り　秋祭り |
| １１ | 和洋の紅葉御膳　秋の室内運動会 |
| １２ | お正月飾り　クリスマス会　クリスマスランチ |
| １ | 書初め　新年ごちそう弁当 |

| | |
|---|---|
| 2 | 節分祭　華やかばら寿司セット |
| 3 | ひな祭りイベントゲーム　春の訪れ御膳 |
| 毎月開催 | 誕生日食・行事浴 |

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 7 | 避難訓練 | 夜間を想定した避難訓練連投する既存防災設備の説明。消火設備配置説明。非常用時の避難時の水平移動訓練 |
| １０ | 防災訓練 | 非常災害時を想定した地域住民と協働して訓練を実施 |
| １１ | 非常災害時訓練 | ライフラインが止まった状況下での初動対応 |
| 2 | 避難訓練 | 夜間を想定した避難訓練施設内既存防災設備の場所の確認、使用方法の説明、避難経路及びその誘導方法の説明。担架を使用した水平移動避難の実施 |
| 3 | 防災訓練 | 地域住民との協働した防災訓練（机上訓練） |

研修実績

特別養護老人ホーム

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 接遇マナー研修 |
| 5 | みんなで考える虐待研修（虐待防止・身体拘束防止研修）<br>看取り研修（施設内における終末期ケア） |
| 6 | 歯科講習会 |
| 7 | 事故防止研修 |
| 8 | 褥瘡予防研修 |
| 9 | 感染症研修 |
| １０ | 歯科講習会<br>非常災害時研修 |
| １１ | 事故防止 |
| １２ | 高齢者虐待防止研修 |
| 1 | 身体拘束防止研修<br>メンタルケア研修 |
| 2 | 看取り研修（施設内における終末期ケア、エンゼルケア）<br>褥瘡予防研修 |
| 3 | 自転車運転・道路交通法改正について |
| 随時 | 認知症介護基礎研修 |

デイサービスセンター

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 成年後見制度 |
| 5 | 認知症ケアに関する研修 |
| 6 | 身体拘束・虐待防止に関する取り組み |
| 7 | 倫理及び法令順守に関する研修 |
| 8 | ＢＣＰ防災・非常災害時の対応に関する研修 |
| 9 | 不適切ケアについて |
| １０ | ＢＣＰ感染症及びまん延防止に関する研修 |
| １１ | 事故の発生等緊急時の対応に関する研修 |
| １２ | 人権研修 |
| 1 | 事故発生予防または再発防止に関する研修<br>メンタルケア |
| 2 | プライバシー保護の取り組みに関する研修<br>腰痛予防研修 |
| 3 | 自転車運転・道路交通法改正について |
| 随時 | 入浴介助 |

訪問入浴

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 成年後見制度 |
| 5 | 認知症ケアに関する研修<br>緩和・ターミナルケア |
| 6 | 身体拘束・虐待防止に関する取り組み<br>安全な入浴介護の手順とポイント |
| 7 | 倫理及び法令順守に関する研修 |
| 8 | ＢＣＰ防災・非常災害時の対応に関する研修<br>介護技術（清拭の目的と手順） |
| 9 | 不適切ケアについて |
| １０ | ＢＣＰ感染症及びまん延防止に関する研修<br>在宅で行われる医療処置の理解（ポート）<br>看取り連携体制加算について・多職種と考えるターミナルケア事例検討会 |
| １０ | |
| １１ | 事故の発生等緊急時の対応に関する研修 |
| １２ | 人権研修<br>排水ポンプの分解・掃除方法 |
| 1 | 事故発生予防または再発防止に関する研修 |
| 2 | プライバシー保護の取り組みに関する研修 |
| 3 | 自転車運転・道路交通法改正について |

訪問介護

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 接遇・食事介助・移乗介助・情報共有について、 |
| 5 | 認知症・虐待防止・プライバシー・乗介助・グレーゾーンについて |
| 6 | 虐待防止と身体拘束<br>感染症研修 |
| 7 | プライバシーと個人情報保護<br>認知症・自立支援研修 |
| 8 | 皮膚疾患による感染症<br>ＢＣＰ防災研修<br>緊急時対応 |
| 9 | 食中毒予防<br>制度とルール<br>接遇力向上研修<br>ＰＰＥ着脱<br>移乗介助 |
| １０ | 事故対応・再発防止<br>ヒヤリハット研修<br>ＢＣＰ感染症研修 |
| １１ | 人権研修<br>季節性の感染症<br>事故再発防止<br>チームケア・不適切ケアの改善・予防策<br>法令遵守研修 |
| １２ | 人権研修 |
| 1 | メンタルケア研修<br>緊急時対応<br>感染症ＢＣＰ訓練<br>食事療法<br>精神疾患 |
| 2 | 倫理と法令順守についての研修<br>メンタルヘルスケア<br>自転車の交通ルールについて |
| 3 | 倫理と法令順守<br>感染症対策の基礎知識 |

居宅介護支援事業所

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 5 | 虐待研修<br>個別避難計画研修 |
| 6 | 福祉用具の事例検討会<br>他法人との合同事例検討会（日常生活自立支援について）<br>福祉・介護サービスの理念とそれに携わる者の倫理 |
| 7 | 後見制度研修<br>認知症研修<br>皮膚疾患についての研修<br>障害福祉研修 |
| 8 | 認知症研修（レビー小体型認知症） |
| 9 | ヤングケアラー研修 |
| １０ | ターミナル研修<br>ヤングケアラー研修<br>アンガーマネジメント研修 |
| １１ | 他法人との事例検討会（生活困窮者について） |
| １２ | 福祉用具・介護テクノロジー研修<br>人権研修<br>倫理研修 |
| 1 | 感染予防研修<br>メンタルヘルス研修 |
| 2 | カスタマーハラスメント研修<br>腰痛予防 |
| 3 | 居宅療養研修災予防講習会<br>道路交通法勉強会 |
| 3 | 痛予防研修<br>認知症研修 |
| 随時 | 困難事例事例検討会 |

地域包括支援センター

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 5 | 個別避難計画研修<br>虐待研修 |
| 6 | 福祉用具の事例検討会 |
| 7 | 成年後見人 |
| 8 | ＣＳＷ研修 |
| 9 | 介護保険<br>ヤングケアラー<br>虐待研修（包括職員研修） |
| １０ | シャドーワーク<br>ターミナル研修<br>アンガーマネジメント研修 |
| １１ | 地域コミュニティー「福祉の形」 |
| １２ | 人権研修 |
| 1 | 心のケア<br>ＣＳＷ研修<br>感染症<br>新しい認知症観研修 |
| 2 | 成年後見人研修<br>介護予防ケアマネジメント研修<br>腰痛予防 |
| 3 | 居宅療養管理指導（栄養マネジメント）研修<br>交通安全（道路交通法勉強会） |

# 特別養護老人ホーム　布市福寿苑　令和７年度　事業報告

## 【１】令和７年度　総括

・収益改善のため、新たな加算取得などに取り組み、実施いたしました。しかしながら、事業によっては当初収入予算を達成することができず、安定した財政基盤の構築までには至っておりません。

・人員体制の整備については、前年度と比較すると整備が進み、体制が確立されつつあります。引き続き登録型介護士の採用等にて不足を補い、安定した職員体制を維持し、離職させない職場づくりを目指してまいります。

・感染症対策については、年度内に数回感染症が発生いたしましたが、小規模な感染で食い止めることができました。感染症に関する研修なども適宜進めており、職員の意識の向上も図れております。

・地域の方々との交流として、災害訓練や運営推進会議などにより、現在の課題をお伺いすることができ、今後の地域活動に向けての意見交換ができました。

・施設内の修繕化については、少しずつ進めており、計画性を持って必要箇所の修繕や更新を進めてまいります。

## 【２】事業実績

| | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点全体 | ― | 97.4% | 69.0% | 26.2% | 3.0% | 1.8% |
| 特養 | 91.7% | 99.8% | 66.2% | 30.7% | 4.0% | △0.9% |
| 短期入所 | 85.4% | 100.9% | 46.0% | 21.4% | 0.6% | 32.0% |
| 通所介護(一般) | 66.4% | 95.9% | 81.9% | 19.9% | 3.0% | △4.8% |
| 通所介護(認知) | 45.2% | 81.2% | 106.9% | 17.6% | 0.2% | △24.7% |
| グループホーム | 91.0% | 94.7% | 80.5% | 24.6% | 3.1% | △8.2% |

| | | 担当件数 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居宅介護 | 延べ | 1728 件 | 109.9% | 83.3% | 5.9% | 1.1% | 9.7% |
| | １人１月 | 31.4 件 | | | | | |
| 介護予防 | 延べ | 1206 件 | 93.3% | 48.1% | 54.7% | 3.6% | △6.4% |
| | １人１月 | 20 件 | | | | | |

【３】事業計画の実施報告

（１）特別養護老人ホーム（短期入所事業を含む）

・離職率については１５．２％となり、昨年度とほぼ同値で推移致しました。
一方人材確保については常勤職員の採用は困難な状況が継続しており、単発アルバイトの利用者への声掛けにて、登録型介護士への切り替えが６名となっております。

・外部機関との連携について、可能な限り居宅介護支援事業者や老人保健施設などへ営業活動を実施し、入所や短期入所の相談があればすぐに面談調整をおこない、円滑に利用へ進めるよう努めました。

・今年度は特に虐待防止や身体拘束についての研修や勉強会を積極的に行い、ご利用者へのサービス向上に向けての取り組みを実施いたしました。

（２）デイサービスセンター

・サービスご利用者の内、リハビリ実施利用者は８８％となり、外部療法士と連携し個別機能訓練計画を作成いたしました。

・年間の職員研修計画を作成し毎月計画に沿って研修を実施。個々のスキルアップを図ることができた。

・新たなアクティビティとして、テレビゲーム機やバンパープール、麻雀や将棋スペースを常設し、ご利用者のニーズに対応する幅を広げることができた。

（３）居宅介護支援事業所

・多様な相談に対応できるよう、近隣の地域包括支援センターと連携を図り、ソーシャルサービスの案内等、地域のニーズに応えられるよう努めました。

・医療機関からの退院や施設からの退所の際、在宅生活をスムーズに再開できるよう、地域の医療機関や事業所等と連携を図りました。

・事業所内で定期的に会議を開催し、支援方法に悩むケースの相談や対応の検討を実施。外部研修や他法人との合同の研修会、地域包括支援センターなど実施の事例検討会への参加も行い、職員のスキル向上と、事業所内での伝達研修にて自己研鑽や情報共有に努めました。

（４）地域包括支援センター

・高齢者生活支援等会議の開催の実施や、生活支援コーディネーターとして地域の課題抽出をいたしました。

・認知症についての理解を促進するため「きっずサポーター養成講座」を昨年に引き続き、小学校で開催し、ロボット（ペッパー君）を使用し好評を得ました。

・地域の介護付き有料老人ホームと協働し、認知症カフェを月１回開催いたしました。カフェではオレンジメンバーの方にボランティアで折り紙教室をして頂き、お喋りに花を咲かせながら、認知症高齢者や地域の方との交流の場を提供しております。

・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援として、多職種連携研修会の開催や地域のサロン、グループ活動の後方支援を実施いたしました。

（５）グループホーム

・認知症ケアの充実を目的に毎月研修を行い、研修内容をご入所者へのケアに活かすと共に、疑問点などはミーティングなどにてフィードバックし、援助内容やケア計画の変更等を実施いたしました。
・日々の生活の中において、ご利用者が自己決定できる場面づくりに取り組み、脳トレパズルや塗り絵等、余暇活動についても自身で選択し実施いただくよう取組みを行いました。
・日頃のご利用者のご様子やケア内容の見直し等、適宜ご家族に情報をお伝えすると共に、定期往診時には主治医への経過報告や相談、服薬調整にてご利用者の健康管理に配慮して生活頂くよう配慮いたしました。

【４】施設の課題

・運営基盤の安定化のため、各事業所が目標稼働率を達成するために、医療機関や地域との連携、また法人内事業所との協力体制にて、新規利用者の増加を目指し、収入の安定を図ってまいります。
・残業時間については前年度と比較すると大きく減少しているが、更に業務改善を進め、労務状況の適正管理により残業時間の縮小を進めます。
・単発アルバイトの利用者に働きかけ、登録型介護士の増加促進を進めてゆくと同時に、未経験の方でも積極的に採用できるよう、教育体制の向上を図り、職員採用に尽力してまいります。
・支出に関し修繕が必要な個所がありますが、収入とのバランスをとりながら、計画的に実施してまいります。

【５】付表

年間行事実績

特別養護老人ホーム

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | お花見 |
| ８ | 夏祭り・花火大会 |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １２ | クリスマス会 |
| １ | 新年祝賀会 |
| ２ | 節分 |
| ３ | 日新高校お花見 |
| 毎月開催 | ヨガクラブ・訪問販売 |

デイサービスセンター

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | お花見ドライブ |

| | |
|---|---|
| 5 | ベビーカステラ |
| 6 | 運動会 |
| 7 | ビアガーデン |
| 8 | 夏祭り |
| 9 | 敬老会 |
| １０ | 石切参道買い物ツアー |
| １１ | 焼き芋 |
| １２ | 感謝の集い |
| 1 | ぜんざい |
| 2 | ホットケーキ |
| 3 | プリンパフェ |
| 毎月開催 | カラオケ大会　ネイル　映画観賞会 |

グループホーム

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| 4 | お花見 |
| 5 | ピクニック |
| 6 | 買い物ツアー |
| 7 | 運動会 |
| 8 | 夏祭り（流しそうめん） |
| 9 | 敬老会 |
| １０ | 焼き芋 |
| １１ | 紅葉ドライブ |
| １２ | クリスマス会 |
| 1 | 初詣 |
| 2 | 節分 |
| 3 | ひな祭り |

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 6 | 防災訓練 | 特養職員・利用者様合同の避難誘導訓練 |
| １１ | 消防立ち合い総合訓練 | 消防職員立ち合いのもと、避難訓練・消化器訓練を実施 |
| １２ | ＢＣＰ災害訓練、洪水・土砂災害避難訓練 | ＨＵＧ（避難所運営ゲーム）を活用した訓練 |
| 1 | 洪水・土砂災害避難訓練 | 停電・断水を想定した対応訓練 |
| 2 | ＢＣＰ災害訓練 | 緊急連絡網を使った伝達訓練 |
| 3 | 防災訓練 | デイサービス職員と利用者様と一緒に消火器訓練、防災ＤＶＤ鑑賞をおこなう |

研修実績

特別養護老人ホーム

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 5 | みんなで考える虐待研修 |
| 6 | 介護現場におけるグレーゾーンについて<br>ノロウイルス感染症について<br>口腔ケア時のポジショニングについて |
| 7 | 業務継続計画（地震編） |
| 9 | スピーチロックについて<br>新型コロナウイルス感染症対策<br>個人防護具の着脱と消毒、清掃 |
| １０ | 介護現場での身体拘束について<br>夜間救急時マニュアルについて<br>口腔ケア体験研修 |
| １１ | 介護現場での身体拘束 |
| １２ | 避難所運営シミュレーション（ＨＵＧ） |
| 1 | 業務継続計画（感染症）の見直し<br>特定給食講習 |
| 2 | 介護保険施設における事故予防と事故発生時の対応に関するガイドラインについて<br>緊急連絡訓練<br>介護保険施設における安全対策担当者養成研修 |
| 3 | マスク、手洗いの効果について<br>業務継続計画（災害）対策について<br>虐待防止・身体拘束について<br>養介護施設従事者による高齢者虐待防止研修 |
| 適宜開催 | 新規採用時研修…身体拘束・虐待防止・事故予防・感染症・業務継続計画（感染症）・業務継続計画（災害）・認知症基礎研修（無資格者） |

デイサービスセンター

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 感染予防 |
| 5 | 介護技術（入浴介助） |
| 6 | 食中毒 |
| 7 | 虐待防止 |
| 8 | プライバシー・人権 |
| 9 | 緊急時の対応 |
| １０ | 権利擁護、成年後見制度 |

| | |
|---|---|
| １１ | 認知症対応 |
| １２ | サービス向上・倫理・法令 |
| 1 | 身体拘束防止 |
| 3 | 虐待防止 |
| 随時 | 新人職員研修 |

グループホーム

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 接遇研修 |
| 5 | 緊急時対応研修 |
| 6 | 高齢者虐待防止研修・感染症研修 |
| 7 | 業務継続計画についての研修 |
| 8 | 食中毒研修 |
| 9 | 高齢者身体拘束研修 |
| １０ | 業務継続計画についての研修 |
| １１ | 認知症ケア研修・感染症研修 |
| １２ | ハラスメント研修・高齢者虐待防止研修 |
| 1 | 業務継続計画についての研修 |
| 2 | 高齢者身体拘束研修 |
| 3 | 事故・再発防止研修 |

# 介護老人保健施設　枚岡の里　令和７年度　事業報告

【１】令和７年度　総括

・人権を尊重した介護を実践するため、人権と虐待防止に関する研修を定期的に実施すると共に、知識や実施状況の確認のため、不適切介護のアンケートを行い、人権に関する指導等を実施し、職場環境の風土の改善に取り組みいたしました。
・安定した施設運営を進めていけるよう、積極的に職員募集を実施しました。
・ご利用者に満足していただけるサービスを提供するため、外部研修の参加や研修報告による情報共有、新人職員への事故防止や感染症対策等の研修を個別に行う等、職員のスキル向上に努めました。
・ご利用者に安心できる生活の場を提供するため、委員会や担当者会議を定期開催する他、必要に応じ適宜開催し、問題の検討や検証にて虐待防止やリスクマネジメントに対する取り組をいたしました。
・感染症や災害への備えとして、定期的なＢＣＰ（事業継続計画）訓練の実施と計画の見直しをいたしました。
・地域貢献活動として地域の方々に向けた健康教室を開催いたしました。お聞きしたご意見やニーズについては、今後の地域貢献活動に活かしてまいります。

【２】事業実績

| | | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 老健 | 目標 | 93.0% | 100.0% | 58.5% | 25.2% | 8.1% | 6.5% |
| | 実績 | 93.4% | 100.4% | 57.3% | 25.3% | 8.2% | 9.2% |

【３】事業計画の実施報告

（１）介護老人保健施設（短期入所療養介護含む）

・介護老人保健施設として安定した運営を展開していけるよう年間稼働率を９３％に設定し事業を運営しました。
相談には丁寧且つ迅速に行うことを心掛け、医療機関や事業所には月に２度空床案内を実施しました。また、定期的なミーティングの開催、広報誌と営業活動の方法の見直しを行い、毎月１度は医療機関や事業所を訪問した結果、前年度より入所者数が１１名上回り、年間稼働率９３．４％を達成いたしました。
・施設退所後の在宅生活継続を実現するため、ご利用者の健康管理を徹底し、施設内での治療並びに医療機関の連携に努めました。
また、家屋訪問等で得た情報を基に、ご利用者それぞれに最善と考えるリハビリ計画を立案し、運動機能と認知機能を同時に向上させるスクエアステップ等をトレーニングメニューに追加し、個別リハビリテーションを充実したものとするよう工夫いたしました。

・ご利用者の生活の質や満足度の向上を目標に日々のレクリエーション、毎月の行事、定期的なクラブ活動を計画的に実施いたしました。また、感染症の流行等を理由に自粛していた外出行事を再開し、社会交流の機会を作ることに取組んだ他、施設内で調理や清掃、片付けなどを行える活動機会を提供いたしました。
・虐待や不適切介護の無い、透明性のある介護を実現するため、定期的に研修の開催と積極的な受講に努めました。前年度までは受講者数が限定されていたことに課題がありましたが、虐待防止等に関連する研修については全職員の受講が完了しております。
・感染症や災害が発生した際にも継続して事業が展開出来るよう、感染症および災害の訓練を実施いたしました。感染症においては基本に振り返り、吐物の処理対応や個人用防護具（ＰＰＥ）の脱着手順の再確認を実施し、一方災害訓練においては、避難誘導や備品の運搬の実施や、机上訓練（ＨＵＧ）では災害発生時を想定したシミュレーションを行う等、各事業活動計画書の見直しをいたしました。

【４】施設の課題
・将来的な管理職クラスの候補者に対する人材育成が停滞していることから、組織的な人材育成計画の策定と職員の人材育成に対する理解が課題となっています。
・人材不足が続く中で採用活動は継続してまいりますが、あわせて業務の効率化を目指し、ＤＸの導入及びそれに向けた職員教育と実践が必要不可欠と考えます。
・安定した財務基盤を構築するため、稼働率の維持向上と在宅復帰率、新たな加算の取得等に取組んでゆきます。
・建物や設備、機器の老朽化により修繕や入替が必要になるところが増大してきていることから、計画性を持って実施してまいります。

【５】付表
年間行事実績
介護老人保健施設

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | お花見行事　傘踊り |
| ５ | ちぎり絵 |
| ６ | ビアガーデン　たこ焼き行事 |
| ７ | 七夕行事 |
| ８ | シャボン玉行事 |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １０ | ラーメン屋台行事 |
| １１ | 焼き芋おやつ行事 |
| １２ | クリスマス会 |
| １ | 元旦祭　初詣 |
| ２ | 節分祭　カフェ |

| | |
|---|---|
| 3 | 雛祭り |
| 毎月開催 | 誕生日会　里喫茶　お料理クラブ　フラメンコクラブ |

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 5 | 消化訓練 | 水消火器を使用した実技 |
| 5 | 日中想定避難訓練 | 避難訓練・情報伝達訓練 |
| 9 | 土砂災害想定避難訓練 | 水平及び垂直避難訓練・情報伝達訓練 |
| 2 | 夜間想定避難訓練 | 避難訓練・通報訓練・消火訓練 |

研修実績

介護老人保健施設

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 人権、身体拘束、虐待防止研修<br>介護技術研修 |
| 5 | 感染症対策研修<br>食中毒予防研修<br>虐待防止研修会 |
| 6 | 認知症研修会<br>口腔ケア研修会<br>ＢＣＰ研修 |
| 7 | 介護技術研修 |
| 8 | 感染症対策研修会 |
| 9 | 安全対策研修<br>身体拘束廃止研修<br>生産性向上研修会<br>口腔ケア研修会<br>ＢＣＰ研修 |
| １０ | 介護技術研修<br>感染症対策研修<br>生産性向上研修<br>褥瘡予防研修 |
| １１ | 自然災害講習会 |
| １２ | ＢＣＰ（感染症・自然災害）研修会 |
| 1 | 虐待防止研修 |
| 2 | 支援相談員研修会 |
| 3 | 安全対策研修 |
| 随時 | 入職時に虐待防止　身体拘束　安全対策　感染症　ＢＣＰ研修 |

# 介護老人保健施設　長田の里　令和７年度　事業報告

【１】令和７年度　総括

・老健の稼働につきましては目標達成には至らず、９１．２％の稼働となっておりますが新たに加算取得を行い収益の改善を行う事ができました。
・職員の配置の見直しを行い、適切な人員配置により人件費の削減を行い、介護福祉士の割合を増加させる事で、サービスの質の向上を行っております。
・想定しうる感染の拡大、災害時の発生に備え、ＢＣＰ（事業継続計画）の見直しを行い施設内研修・訓練の実施を行いました。
・虐待不適切介護の根絶を目指し、マニュアルの見直し・研修の実施を行い、職員との面談を行いながら、相談対応やストレスケアを引き続き行っております。
・開設より２０年を超えており、今年度はナースコールの入替工事を行い、ご利用者の安心と、職員の業務改善を行いました。

【２】事業実績

| | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点全体 | ― | 98.6% | 65.9% | 24.5% | 4.1% | 5.5% |
| 老健 | 91.2% | 101.3% | 63.1% | 27.0% | 4.6% | 5.2% |
| 通所 | 56.2% | 77.5% | 80.8% | 18.3% | 2.4% | △1.5% |

| | | 担当件数 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居宅介護 | 延べ | 2,266 件 | 109.0% | 77.5% | 3.5% | 0.4% | 18.6% |
| | １人１月 | 36.5 件 | | | | | |

【３】事業計画の実施報告

（１）介護老人保健施設（短期入所療養を含む）

・介護老人保健施設の機能と特色を活かし、在宅復帰に向けての支援強化を目指し、入所前後の自宅訪問にて、ご利用者及びご家族の希望とご利用者の身体能力等を把握し、多職種のもと施設サービス計画を策定いたしました。
また、積極的に多職種でご利用者の自宅を訪問し個別のカンファレンスにて、在宅生活を想定したリハビリの実施や在宅復帰パスを活用した結果、年間の在宅復帰率につきましては２１．６％となり目標数値を達成しました。
・介護老人保健施設として安定した経営を継続していくため、ベッド回転率の向上と稼働率９３％を目標に取り組み、ベッド回転率については８．３％と目標を達成する事ができておりますが、年間稼働率につきましては、９１.２％と目標達成には至りませんでした。

・積極的に関連機関への空床案内や訪問を行い、情報収集や営業活動実施に加え、面会時にご本人の動画撮影したものをご家族へ視聴して頂く、リハビリや食事など施設での生活や様子をブログに投稿など、情報を可視化し発信する事に注力いたしました。
・新型コロナウイルスなど感染症はありましたが、クラスターが発生することはなく、また重症化にも至らず施設生活への影響を最小限に留めることができました。感染症については常に新しい情報を取り入れつつ、感染症予防に係る体制強化やマニュアルの見直しと整備、ＢＣＰ（事業継続計画）の見直しを行い、更なる感染症予防に努めております。またＢＣＰと合わせ研修と訓練も実施しました。
・地域福祉の拠点となるような包括的なサービスの提供を目指し、施設の併設事業のほか、関連事業所との連携強化を図り、ニーズに合わせて包括的なサービスの提供を行えるように取り組みました。
・ご利用者が安心安全に施設生活を過ごして頂けるよう外出行事の実施や地域交流の一環として、秋祭りの見学などを実施いたしました。

（２）通所リハビリテーション
・療法士が支援相談員となったことで、ご利用者の日々変化する残存機能と生活環境が把握しやすくなりました。それに伴い機能訓練や個別リハビリのプログラム再検討・提案の早さが向上し、ご家族へのアドバイスがスムーズに行えるようになりました。
・スライディングボードや入浴時に使用するリフトを導入し、ご利用者ごとに介助方法の研修を適宜行いました。それにより、職員の機器の操作熟練度・介助技術の向上が見られ、ご利用者への安定したサービスの提供、職員の介護負担の軽減が見られました。
・積極的にブログでの外部発信を行いました。また居宅介護支援事業所への営業の実施や、様々な要望を出来る範囲で受け入れる事で稼働率の向上が見られました。

（３）居宅介護支援事業所
・令和７年度については件数、金額ベース共に計画達成ができました。地域包括から要支援並びに要介護の受け入れを行っており、要支援者の件数は多くなってきています。
・利用者アンケートにおいても概ね満足の結果を得ています。但し一部職員に利用者から苦情があり、対応した案件ありました。今後は再発防止に努めてまいります。
・ケアマネジャー実務研修受け入れを２名、藤井会東大阪看護学校実習生４名を受け入れました。他居宅合同研修２回実施しています。（７月、２月）
・職員１名の異動(３/１６付)があり、新職員の速やかな業務習得を目指します。

【４】施設の課題

・稼働維持向上に苦戦した事から、計画的な入退所を意識し稼働向上を目指します。協力医療機関等との連携により、新規利用者の紹介や再入所の方の情報共有を意識して取り組んでまいります。

・令和８年度より管理医師の変更に伴い、新たな体制を構築する必要がある為、同時に職員育成も意識し、組織風土を意識して取り組んでまいります。

・施設の老朽化に伴い、設備や物品等を安心・安全に使用できるよう、適宜整備、修繕を行ってゆきます。

【５】付表

年間行事実績

介護老人保健施設

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 散歩行事 |
| ５ | たこ焼き行事 |
| ６ | ボウリング大会 |
| ７ | お好み焼き行事 |
| ８ | アイスバイキング |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １０ | 長田の里　秋まつり |
| １１ | お寿司バイキング |
| １２ | クリスマス会 |
| １ | 鍋行事 |
| ２ | 節分祭 |
| ３ | 天ぷらバイキング |
| 毎月開催 | |

通所リハビリテーション

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | さくらの会 |
| ５ | 端午の節句 |
| ６ | おやつ行事 |
| ７ | 七夕祭り |
| ８ | 夏祭り（ヨーヨー・射的・コイン落とし） |
| ９ | 敬老行事 |
| １０ | スポーツ大会 |
| １１ | 鍋行事 |

| | |
|---|---|
| １２ | クリスマス会 |
| 1 | 新年会 |
| 2 | 節分 |
| 3 | ひな祭り |

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 8 | 緊急連絡網訓練<br>（BCP 訓練も兼ねる） | 緊急時、全職員への通報訓練及び緊急動員を要請する訓練 |
| 9 | 風水害・地震等訓練<br>（BCP 訓練も兼ねる） | 地震時における人的被害を最小限に抑える為の避難訓練の実施。※訓練内容が風水害と類似する為、風水害訓練も兼用。 |
| １０ | 火災訓練（水消火器訓練）（BCP 訓練も兼ねる） | 災害発生、避難の声掛け、消火器の場所の確認・把握、消火活動まで。 |
| 1 | BCP 訓練（災害） | 災害発生時の初動の確認。備蓄食の場所の確認・把握も実施。実際に備蓄食を作るのを体験する。 |
| 3 | 夜間火災訓練<br>（BCP 訓練も兼ねる） | 夜間帯の地震後の火災を想定し、初期消火・通報・避難訓練を実施。（消防署立会い）その後、看護師の健康チェック、居宅・デイにおける安否確認連絡を行う。 |

研修実績

介護老人保健施設

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | |
| 5 | 食中毒予防研修　認知症ケア研修 |
| 6 | 緊急時対応研修 |
| 7 | 褥瘡予防研修　事故防止・再発防止研修 |
| 8 | 身体拘束・高齢者虐待防止研修　感染症予防対策研修 |
| 9 | 災害対策研修 |
| １０ | 腰痛予防研修 |
| １１ | 接遇マナー研修 |
| １２ | 感染症予防対策研修 |
| 1 | プライバシー保護・倫理・法令順守研修<br>事故防止・再発防止研修　災害対策研修 |
| 2 | 感染症予防対策研修 |
| 3 | 高齢者の人権・身体拘束・高齢者虐待防止研修 |
| 随時 | |

通所リハビリテーション

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | |
| 5 | 食中毒予防研修　認知症ケア研修 |
| 6 | 緊急時対応研修 |
| 7 | 褥瘡予防研修　事故防止・再発防止研修 |
| 8 | 身体拘束・高齢者虐待防止研修　感染症予防対策研修 |
| 9 | 災害対策研修 |
| １０ | 腰痛予防研修 |
| １１ | 接遇マナー研修 |
| １２ | 感染症予防対策研修 |
| 1 | プライバシー保護・倫理・法令順守研修<br>事故防止・再発防止研修　災害対策研修 |
| 2 | 感染症予防対策研修 |
| 3 | 高齢者の人権・身体拘束・高齢者虐待防止研修 |
| 随時 | 福祉用具使用方法研修、利用者移乗介助研修 |

居宅介護支援事業所

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | |
| 5 | 認知症ケア研修、食中毒研修 |
| 6 | 褥瘡研修 |
| 7 | 感染対策研修、他居宅合同事例研修 |
| 8 | 身体拘束、高齢者虐待研修 |
| 9 | 災害対策研修（BCP 研修） |
| １０ | 腰痛予防研修、 |
| １１ | 接遇マナー研修 |
| １２ | 倫理法令遵守研修 |
| 1 | 感染症(ノロウィルス)研修 |
| 2 | 他居宅合同事例研修 |
| 3 | 高齢者虐待、身体拘束研修、人権研修 |
| 随時 | |

# 軽費老人ホーム　ケアハウスひらおか　令和７年度　事業報告

【１】令和７年度　総括

・目標稼働率９７％を超える、稼働率９８．３％と目標達成しております。
・本体施設（ケアハウス）は未達成となりましたが、デイサービスについては年間の目標稼働率を達成しております。
・今年度は法人が実施した利用者「満足度アンケート」「不適切介護アンケート」の結果を検証し、認知症ケア研修や虐待防止研修に重点を置き、丁寧な言葉遣いや適切な援助、接遇について各職員のスキル向上に努めました。
・マスク着用の任意化の実施や面会及び外出時の制限の解除等コロナ禍以前の状況に戻すと同時に行事や各レクリエーションの充実を図り、利用者同士の交流の場を増やすよう実施いたしました。
・東大阪市による指導監査（ケアハウス）を受審。事業運営が適正に行われていることを確認いたしました。

【２】事業実績

| | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ケアハウス | 98.0% | 100.0% | 38.5% | 71.6% | 8.5% | △18.6% |

【３】事業計画の実施報告

・適宜ご利用者の状況に応じ、担当の介護支援専門員やサービス事業者にご利用者の状態を報告し、福祉サービスの利用を勧めることで入院や退去を減らす事ができ、目標稼働率の達成に至っております。
・居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと継続的に連携を図る事で待機者の獲得に繋がり、新規入所へスムーズに移行することができました。
・利用者アンケートの結果からご利用者より寄せられた意見や要望を考慮し、毎月定例で茶話会、カラオケ、マージャン、会議室開放（入所者交流会）の開催に取り組みました。
・地域との交流として、隣接法人のぽかぽかサロン、小地域ネットワーク主催の講演会の参加を行い、施設ご利用者と地域の方々との交流機会を設け、ケアハウスへ入所されていても地域住民の一人であることを意識いただくよう努めました。
・支出面では施設敷地内に埋設している水道管の老朽化により漏水があり、修繕を行いました。

【４】施設の課題

・要支援、要介護認定されるご利用者の割合が増加しており、代行や貴重品の預かり等、提供するサービスの充実を図ってまいります。

また、ご利用者処遇の向上に向け、介護保険の知識の習得や対人マナー等の研修受講にてスキルアップを図っていきます。

・施設の設備や機器が経年により老朽化してきておりますので、計画的に修繕、入替等を実施してまいります。

【５】付表

年間行事実績

ケアハウス

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | お花見ドライブ |
| ５ | 端午の節句(菖蒲湯)　おやつ会 |
| ６ | おやつ会 |
| ７ | おやつ会　七夕祭り |
| ８ | おやつ会 |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １０ | 秋祭り会 |
| １１ | 茶話会 |
| １２ | クリスマス会　冬至(ゆず湯) |
| １ | 鏡開き(おぜんざい) |
| ２ | 茶話会　節分祭 |
| ３ | ひな祭り(甘酒)　おでんバイキング |
| 毎月開催 | 誕生日会 |

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| ６ | 緊急連絡網実施訓練 | 緊急連絡網を整備し、実践する |
| ８ | ４施設合同ＢＣＰ訓練 | 避難所運営ゲームＨＵＧ研修 |
| １１ | 夜間想定防災訓練 | 宿直者に初期消火及び避難誘導訓練を実施 |
| | ４施設合同災害ＢＣＰ訓練 | 模擬訓練(食事提供) |
| ２ | ３施設合同夜間想定訓練 | 通報・避難・消化訓練 |
| ３ | 合同感染症ＢＣＰ訓練 | ノロウイルス感染症の対応について |

研修実績

ケアハウスひらおか

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 高齢者虐待防止『虐待はなぜ起きるのか？』 |
| 5 | 身体拘束・事故防止『養護者、職員による虐待』 |
| 6 | 感染症予防『食中毒の発生状況、予防について』 |
| 7 | 事故防止『誤薬について』 |
| 8 | 身体拘束・事故防止『福祉現場においての予防対策』 |
| 9 | 事故防止『認知症の事故防止』 |
| １０ | 感染症予防『正しい手洗い指導』 |
| １１ | 身体拘束『リスクマネジメントの実践報告』 |
| １２ | 感染症対策『疥癬予防対策』 |
| 1 | 虐待防止『福祉サービスに求められる人権の視点』 |
| 2 | 身体拘束『高齢者虐待・身体拘束から人権を考える』 |
| 3 | 事故防止『介護現場における事故防止対策について』 |

# 軽費老人ホーム　ケアハウス喜里川　令和７年度　事業報告

## 【１】令和７年度　総括

・認知症ケア研修や虐待防止研修を通じて、適切な言葉遣いや接遇について再確認し、人権意識の向上を図りました。また、利用者の尊厳と自己決定を尊重し、その人らしい生活の実現に向けて支援を行いました。

・目標稼働率について、本体施設（ケアハウス）は未達成となりましたが、デイサービスについては年間の目標稼働率を達成しております。

拠点収入については、概ね予算どおり執行できており、拠点支出については、費用の合理化・適正化により、予算に対し人件費で約２７０万円、経費で約６０万円の削減が実施できました。

・残業代削減の方針に則り、職員会議や生産性向上委員会において、職員の意識改革、業務効率の向上を徹底化し、前年度対比で５５％残業代を削減しました。

・東大阪市による運営指導（デイサービス）と指導監査（ケアハウス）を受審し、特に大きな指摘事項はなく、事業運営が適正に行われていることを確認しました。

・ケアハウスとデイサービスの連携強化により情報共有を密に行い、状態変化について早期対応できる仕組みを構築したことにより、ケアハウスのご利用者で併設のデイサービスを利用する方が増えました。

・コロナ禍以前の生活を取り戻すため、マスク着用の任意化、面会制限の解除、行事やレクリエーションの再開等に取り組みました。

・業務改善・職場環境改善に向けて、生産性向上委員会を中心に、事務所レイアウトの変更、５Ｓ活動、データ管理の効率化等に取り組みました。

・障がい者事業所が運営されているパンの販売、コンビニの出張販売等地域との連携を深めると共に、ケアハウスのご利用者と地域の方々との交流を促進しました。

## 【２】事業実績

| | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点全体 | ― | 100.3% | 49.1% | 52.4% | 6.7% | △8.2% |
| ケアハウス | 91.3% | 100.2% | 42.8% | 59.6% | 7.9% | △10.3% |
| 通所介護(地密) | 72.4% | 100.7% | 69.1% | 29.4% | 3.0% | △1.5% |

## 【３】事業計画の実施報告

（１）ケアハウス

・待機者リストの進捗管理により迅速な連絡調整を行い、空床率を低く抑えようとしましたが、退所が重複すると入所までにタイムラグが生じ、稼働率が９０％に達しない月が３ヵ月発生し、目標稼働率９４％に対し、実績９１．３％という結果となりました。

・営業確認簿の共有、対象エリアの拡大、定期的な空床情報の発信により、効率的、効果的な営業を展開しました。
・利用者満足度アンケートを実施し、以前からの課題でもある食席の問題や入浴グループの問題についてご利用者と協議を行い、自由化に向けて課題解決に取り組みました。

（２）デイサービスセンター
・５月に新型コロナの発生により稼働が低迷しましたが、それ以降は増加傾向に転じ、最終的に年間目標標稼働率７２％に対し、実績７２．４％と年間稼働目標を達成できました。
・営業先の拡大や居宅、包括への訪問回数を増やすことで新規依頼が増加しました。また、区分変更やケアプラン変更について事業所から積極的に提案を行うことで１人当たりの利用回数が増加しました。（新規１３名、利用回数増７名）
・将棋、健康麻雀など、男性でも楽しめる介護予防プログラムの充実化により、男性利用者の集客力向上につながりました。
・クラブ活動の担い手として個人ボランティア１名に毎週参加してもらい、利用者処遇の向上につながりました。
・職場環境改善等により離職者が発生しなかった為、派遣職員等の雇用を抑制できたことと、入浴の繁忙時間帯に単発アルバイトを４時間のみ配置することで業務効率の向上が図れ、昨年度比較で１８．５％人件費の削減につながりました。

【４】施設の課題
・２人部屋の２室に空きが生じており補填が進んでいない状況が継続しており、関係機関へのＰＲを強化すると共に、場合により単独世帯の入居を検討します。
・建物や設備等の老朽化により修繕費が増加傾向にあります。費用が高額になるケースが多いことから、設備改修が必要な箇所について優先準備をつけながら計画的に修繕を行っていきます。
・本体施設（ケアハウス）の人件費については予算よりも約１５０万円上回っていることから、職員配置の見直しや業務内容の改善などにより、収支バランスに応じた人員配置を検討します。
・営業活動について定期訪問や空床情報を発信していますが、行事や施設内の取り組みについては十分に発信できておりませんので、広報活動の促進としてブログの更新を積極的に行ってまいります。

【５】付表

年間行事実績

ケアハウス

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 花見会 |
| ５ | 買い物ツアー |
| ６ | おやつレク |
| ７ | おやつレク |
| ８ | おやつレク |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １０ | 秋祭り |
| １１ | 文化祭　おやつレク |
| １２ | クリスマス会 |
| １ | 元旦祭　鏡開き |
| ２ | 節分祭 |
| ３ | ひな祭り　おやつレク |
| 毎月開催 | 誕生日会・折り紙教室 |

デイサービスセンター

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 花見ドライブ |
| ５ | おやつレク |
| ６ | おやつレク |
| ７ | 夏祭り |
| ８ | ゲーム大会 |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １０ | 秋祭り |
| １１ | 文化祭 |
| １２ | クリスマス会 |
| １ | 正月祭 |
| ２ | 節分祭 |
| ３ | ひな祭り |
| 毎月開催 | 誕生日会 |

防災訓練実施

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 5 | 昼間想定避難訓練 | 昼間の火災を想定した消火・通報・避難訓練 |
| 8 | ＢＣＰ訓練（枚岡４施設） | 避難所運営ゲーム（ＨＵＧ） |
| １１ | ＢＣＰ訓練（枚岡４施設） | 初動対応の机上訓練<br>模擬訓練（食事提供） |
| １２ | 夜間想定避難訓練 | 夜間の火災を想定した消火・通報・避難訓練 |
| 3 | 非常際災害・BCP 訓練 | 初動対応の模擬訓練<br>消防設備・避難経路の確認 |

研修実績

ケアハウス・デイサービスセンター合同

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 事故発生・再発防止研修 |
| 5 | 身体拘束適正化研修<br>倫理・法令遵守研修 |
| 6 | 感染症予防研修<br>感染症ＢＣＰ研修 |
| 7 | 虐待防止研修 |
| 8 | 介護予防研修 |
| 9 | 非常災害研修<br>災害ＢＣＰ研修 |
| １０ | 事故発生・再発防止研修 |
| １１ | 身体拘束適正化研修<br>ハラスメント研修 |
| １２ | 感染症予防研修<br>感染症ＢＣＰ訓練 |
| 1 | 虐待防止研修 |
| 2 | 認知症ケア研修<br>プライバシー保護研修 |
| 3 | 感染症予防訓練 |

# 小規模多機能ホーム　ごりょうの家　令和７年度　事業報告

## 【１】令和７年度　総括

・地域公益活動は随時開催し、地域のサロンや催しに積極的に参加し、地域清掃や医療介護推進協議会等にも参加いたしました。
・小規模多機能ではニーズの高い長時間利用（夕食後送り）、デイサービスでは認知症による重度の周辺症状を有する方の受け入れや広報活動等も積極的に実施しましたが、目標稼働率には届かず収支の黒字化は達成できておりません。
・人材育成については内部研修が中心となっており、研修の定期的な実施とＯＪＴ等の実施にて職員のスキル向上に努めました。

## 【２】事業実績

| 事業名 | | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点全体 | 目標 | ― | 100.0% | 94.0% | 17.2% | 12.7% | △23.9% |
| | 実績 | ― | 95.6% | 102.5% | 18.0% | 20.6% | △41.1% |
| 小多機 | 目標 | 72.0% | 100.0% | 87.0% | 17.1% | 12.3% | △16.4% |
| | 実績 | 59.5% | 98.8% | 98.8% | 17.5% | 21.4% | △37.6% |
| 通所介護（認知） | 目標 | 65.0% | 100.0% | 108.7% | 17.5% | 13.6% | △39.8% |
| | 実績 | 54.2% | 91.4% | 109.7% | 19.1% | 19.0% | △47.8% |

## 【３】事業計画の実施報告

### （１）小規模多機能型居宅介護

・要支援者が増えたことで、平均介護度は２．３と前年度より低下しましたが、より介護度高い重度のご利用者への対応準備は完了しており、夕食後の施設受け入れ等を積極的に行う等の対応を実施しております。
　また、これらの対応に伴う、勤務調整についても臨機応変に行うことができました。
・専属の介護支援専門員を採用せず、業務の効率化でサービス提供に支障を起こすことなくプラン作成を行うことができております。
・地域支援活動については、地域清掃や御領サロンへの参画、施設開放などを積極的に行い、継続することができました。

### （２）認知症対応型通所介護

・職員の体調不良による長期休養や退職など職員体制が厳しい時期がありましたが、職員間で協力し合いサービスの質を落とさず、サービス提供が実施できました。
・レクリエーション活動は、アンケートの結果やご意見、ご利用者やご家族などのご要望を取り入れ、外出行事などを積極的に実施する等、ニーズに応じた活動を行うことができました。
・他のデイサービスでは対応が難しいご利用者の受け入れも積極的に行いました。

【４】施設の課題

・平成２９年１２月１８日の開設以来、改善の努力を重ねては来ましたが思うように収益が伸びず、大きな赤字が続いており、更に近年の物価高騰や人件費の上昇、人材不足なども相まって、これ以上の改善が見込めないと判断に至り、現元国有地の用途指定期間である令和８年９月の満了をもって、事業休止を予定しております。

大東市と協議し、他法人への譲渡の努力をしております。

ご利用者には引き続き安心してサービスをご利用いただけるよう、他事業所へのご紹介等、誠意をもって適切に引継ぎを行ってまいります。

また、当事業所職員に対しても十分な説明を行うと共に、事業休止後の業務等の処遇について、できるだけ職員の希望を尊重することができるよう努めてまいります。

【５】付表

年間行事実績

小規模多機能

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 花見　ドックセラピー |
| ５ | 茶摘み　鯉のぼり大会　ドックセラピー |
| ６ | カエル飛ばし大会　ドックセラピー |
| ７ | 夏の運動会　ドックセラピー |
| ８ | 夏祭り　ドックセラピー |
| ９ | 敬老祝賀会　ドックセラピー |
| １０ | 秋の思い出　ドックセラピー |
| １１ | イチョウ狩り　ドックセラピー |
| １２ | クリスマス会　ドックセラピー |
| １ | 福笑いとぜんざい　ドックセラピー |
| ２ | 節分　ドックセラピー |
| ３ | ひな祭り　ドックセラピー |
| 毎月開催 | お誕生会　ドックセラピー |

※定期開催：御領お楽しみサロン（年５回）

認知症対応型通所

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 花見ドライブ |
| ８ | 夏祭り |
| ９ | 敬老祝賀会 |
| １２ | クリスマス会 |
| ２ | 節分 |
| ３ | ひな祭り |
| 毎月開催 | お誕生会 |

※不定期開催：昼食レク、おやつレク、集団レクリエーション等

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 5 | 防災訓練（緊急連絡網） | 非常災害時を想定した職員の緊急連絡網の訓練を実施 |
| 6 | 消火訓練、避難訓練（夜間帯想定）<br>※小規模多機能 | 小規模多機能（１Ｆ）の夜勤帯の火災を想定<br>消防隊が到着するまでの間の職員がすべき消火作業並びに避難誘導の実施 |
| 7 | 総合訓練<br>※認知症通所介護 | 地震（震度５以上）による台所から火災発生を想定し、ご利用者の安全確保、避難経路の確認にて１階玄関まで避難誘導を実施 |
| １０ | 総合訓練（合同） | 消防署の立ち合いの下、避難経路の確認、消火器の使用を実施 |

研修実績

小規模多機能、認知症対応型通所

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 5 | 標準予防策<br>みんなで考える虐待研修 |
| 6 | 入浴に関して（塗り薬の取り扱いについて） |
| 7 | 現利用者に留意するべき身体拘束防止研修<br>熱中症予防<br>感染症の予防およびまん延防止に関する研修 |
| 8 | プライバシー保護に関する研修 |
| 9 | 安全な送迎のための取り組みに関する研修 |
| １０ | ハラスメント対策に関する研修 |
| １１ | 当施設内での苦情対応（法人内での苦情報告から見る）<br>感染症発生時の業務継続計画（ＢＣＰ）に関する研修 |
| １２ | 身体拘束とグレーゾーン |
| 1 | 入浴研修、事故を防ぐための研修 |
| 2 | 高齢者虐待防止研修、認知症および認知症ケアに関する研修 |
| 3 | 接遇、不適切介護、虐待について<br>新・正しく使おうＰＰＥ |

# 介護老人保健施設　すいれん　令和７年度　事業報告

【１】令和７年度　総括

・高齢者人口の増加に伴う介護ニーズの多様化・高度化に対応するため、サービスの質の向上と安定的な運営体制の構築に取り組んでまいりました。特に、自然災害や感染症への備えとして体制整備や各種訓練の実施や限られた人員の中でも質の高いケアを提供できるよう、業務の見直しやＩＣＴ機器の活用を進め、生産性の向上と職員の負担軽減を図りました。

・在宅復帰支援施設としての役割を果たすため、在宅サービスとの連携強化に取り組み、ご利用者の在宅生活の継続支援および在宅復帰の促進に努めながら、地域との関係性の強化に努めました。

・ご利用者が安心して生活できる体制整備を進めて行く為、自然災害や感染症への対応への訓練を実施しました。

また、訓練結果や感染症の流行状況、災害リスクの変化を踏まえ、事業継続計画（ＢＣＰ）の見直しを適宜行うとともに、備品の整備や手順の再確認を行い、切れ目のないサービス提供体制の維持に努めました。

・職員体制の充実とサービスの質の向上に向け、生産性向上を目的としたタスクシフトの推進やＩＣＴ機器の活用を進めることで、業務の効率化と職員の負担軽減を図り、柔軟なサービス提供体制の構築を行いました。

・在宅と施設間の円滑な移行を推進するため、介護老人保健施設としての役割を踏まえ、在宅サービスとの連携強化に取り組み、ご利用者の在宅生活の継続支援につなげております。

また、地域貢献活動を通じて地域住民との関係性の構築を進め、地域に開かれた施設運営の推進に努めました。

【２】事業実績

| | 稼働率 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 拠点全体 | ― | 101.7% | 59.2% | 26.7% | 10.2% | 3.9% |
| 老健 | 91.5% | 102.5% | 56.6% | 28.6% | 10.7% | 4.1% |
| 通所 | 63.7% | 94.5% | 70.0% | 19.5% | 8.1% | 2.4% |

| | | 担当件数 | 達成率 | 人件費率 | 経費率 | 償却費率 | 利益率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 居宅介護 | 延べ | 1245 件 | 106.1% | 84.9% | 5.4% | 3.7% | 6.0% |
| | １人１月 | 34.6 件 | | | | | |

【３】事業計画の実施報告

（１）介護老人保健施設（短期入所事業を含む）

・面会や外出については、感染症蔓延防止策を徹底しながら制限の見直しを行い、面会回数の制限緩和や外出時間の拡大を実施した事から、ご利用者とご家族が安心して過ごせる時間を確保できました。
・ご利用者が今後の目標に向けて安心した生活を送ることができるよう、ご家族を含め施設退所後のご意向について改めて確認を行い、個々のニーズに応じたケアやリハビリの充実に取り組むことで、一人ひとりの生活目標を踏まえた支援の強化を図りました。
・在宅復帰後においても切れ目のない支援が提供できるよう、ご担当の介護支援専門員との連携を強化し、情報共有や支援内容の調整を継続的に行うことで、ご利用者が在宅復帰後も安心して生活が送れるよう支援しました。
・入所前の主治医等からの情報を活用し、多職種が連携しながら健康状態の把握と継続的な観察を行うことで、ご利用者の健康管理の維持と疾患等の早期発見に努めました。

（２）通所リハビリテーション

・身体状況に合わせた運動プログラムを実施し、その効果を見える化したものをご利用者、ご家族、担当の介護支援専門員へ伝え効率的な情報共有に努めました。
・ご利用者の希望に合わせて、自主トレーニングを実施していただき、安心して在宅生活が維持できるよう自立支援につながりました。
・認知機能向上システムを使用し機能維持向上を図りました。
・居宅介護支援事業所、本体施設との連携を強化し、施設からの在宅復帰者へ対して、円滑なサービスの開始に努めました。
・感染症予防対策を実施すると共に、研修を通して職員へ感染症対策に関する知識、感染症対策を日頃から意識できる体制ができました。

（３）居宅介護支援事業所

・サービス提供事業者に留まらず、医療機関や介護施設との連携を強化し、入退院および入退所に関する支援を継続的に実施し、ご利用者の生活環境が変化する場面においても、切れ目のない支援を提供することができました。
・災害や感染症等の非常時に備えるため、ＢＣＰ（業務継続計画）に関する研修および訓練を計画的に実施。幸いにも事業停止を要する事態は発生しませんでしたが、研修・訓練を通じて非常時の対応体制を整備し、職員の意識向上と備えの強化に努めました。
・業務プロセスの見直しや働き方の工夫を進め、より効率的に業務を遂行できる体制づくりに取り組みました。
出勤・退勤方法の工夫や個々の業務内容を事業所内で共有する仕組みを整備したことで、業務の属人化を防ぐと共に、事務負担の平準化を図りました。

【４】施設の課題

・介護人材の確保および定着については依然として厳しい状況が続いており、安定したサービス提供体制の維持に向けた取り組みの実施が課題となっている。
・職員一人ひとりの業務負担軽減と専門性の向上を図るため、業務の効率化や教育体制の更なる充実が必要。
・事業運営の安定化を実現して行く為、人員配置の見直しを進めるとともに、単発アルバイト等の有効活用等による柔軟な人員確保への取り組み。
・加算の取得や稼働向上など収益向上への取組等、持続可能な運営体制の構築に向けての取り組みが課題である。

【５】付表

年間行事実績

介護老人保健施設

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 近隣散歩 |
| ５ | 菖蒲湯　貼り絵 |
| ６ | ボウリング大会 |
| ７ | 七夕行事 |
| １０ | 運動会 |
| １１ | 体操教室 |
| １２ | クリスマス会 |
| １ | 元旦祭 |
| ２ | 建国記念を祝う会 |
| ３ | 卓球大会 |
| 毎月開催 | 誕生日会 |

通所リハビリテーション

| 月 | 行事内容 |
|---|---|
| ４ | 春のイースター祭り |
| ５ | 兜取り |
| ６ | てるてる坊主作り |
| ７ | 夏祭り |
| ８ | 暑さをふっとばせ夏祭り大会 |
| ９ | 敬老会 |
| １０ | いもほりゲーム大会 |
| １１ | お湯かけ玉入れ |
| １２ | 忘年会 |
| １ | 絵馬作成 |
| ２ | 温泉気分でリフレッシュ |

| | |
|---|---|
| 3 | ひなまつり |

防災訓練実績

| 月 | 種別 | 内容 |
|---|---|---|
| 5 | 基礎訓練 | 新人職員を対象とした、施設の防災機器・器具の場所及び取り扱い方法等の周知 |
| 9 | 消火訓練<br>合同防災訓練 | 水消火器を用いた防災訓練並びに火災時の対応等についての訓練 |
| １２ | 夜間想定避難訓練 | 夜間想定の消防訓練を実施。初期消火訓練・避難誘導訓練・通報訓練 |

研修実績

介護老人保健施設

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 手洗い、グローブの外し方研修 |
| 5 | 食中毒研修<br>みんなで考える虐待研修 |
| 6 | 口腔ケア時のポジショニングと入れ歯について |
| 9 | 身体拘束の防止について |
| １０ | 高齢者虐待防止について<br>入居者さんのお口の中を体験してみよう |
| １１ | 口腔ケア「死ぬまで噛んで食べる為のケア」 |
| １２ | 嘔吐処理対応：実地訓練 |
| 1 | 嘔吐処理対応：実地訓練 |
| 2 | ＢＣＰ訓練（自然災害編）<br>苦情の再発防止研修 |
| 3 | 「法令遵守」「個人情報保護」「ハラスメント」研修 |

通所リハビリテーション

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 手洗い・手指消毒・手袋研修、訓練 |
| 5 | みんなで考える虐待研修 |
| 6 | 介護現場の感染対策 |
| 7 | 認知症の方に対しての介護技術 |
| 9 | 身体拘束の防止について |
| １０ | 嘔吐処理研修<br>高齢者虐待防止について<br>口腔ケア～死ぬまで噛んで食べるためのケア～<br>認知症の理解とチームケア |

| | |
|---|---|
| １１ | 嘔吐処理訓練 |
| 2 | ＢＣＰ研修（感染症編）<br>苦情の再発防止研修 |
| 3 | 介護事故トラブルを防ぐポイント<br>ＢＣＰ研修・訓練（災害編） |

居宅介護支援

| 月 | 研修内容（テーマ） |
|---|---|
| 4 | 手つなぎ学習会　家まで届け！薬の力！<br>ケアマネが今すぐ実践すべき業務効率化の３つのポイント<br>多職種コミュニケーションの極意 |
| 5 | 手洗い、グローブの外し方研修<br>鶴見区自立支援型ケアマネジメント小会議 |
| 6 | 食中毒研修<br>困ったの瞬時における調整力とは（イチロウ株式会社）<br>ケアマネジャーに必要な感染症予防の基礎知識など<br>ＢＣＰの研修と訓練の運用方法（イチロウ株式会社）<br>人権研修「高齢者虐待の防止について」 |
| 7 | アサーティブコミュニケーション研修<br>チェックリストから確認する運営指導対策<br>自然災害ＢＣＰ（マイタイムライン） |
| 8 | 高齢者虐待防止研修 |
| 9 | 身体拘束の防止について<br>若年性認知症 |
| １０ | 高プライバシー（個人情報）保護研修<br>ケアマネの仕事はどこまで？どこから？<br>高齢者虐待防止について<br>嘔吐処理対応 |
| １１ | 地域資源を知る「大東市通所サービス事業所紹介」 |
| １２ | 嘔吐処理対応：実地訓練<br>令和６年能登半島地震からの体験談から学ぶＢＣＰ<br>介護施設のための運営指導対策<br>報酬返還にならないために押さえるべきポイントを徹底解説 |
| 1 | 嘔吐処理対応：実地訓練<br>高齢者の人権について<br>大東市自立支援ケアマネジメント検討会議 |
| 2 | ＢＣＰ訓練（自然災害編）<br>苦情の再発防止研修<br>令和７年度　ケアマネスキルアップ事業振り返り研修 |

| | |
|---|---|
| 3 | 「法令遵守」「個人情報保護」「ハラスメント」<br>『もしもの時に』ではなく、『これからをどう生きるか』を支援する<br>精神疾患のある人への理解と支援 |